

📖 レッツ!魚釣り

活動のねらい	【時 期】 4月～11月
	【場 所】 「うみのこ」の停泊港 ※各港における留意事項の遵守
	【時 間】 45分以上
	【準備物】 ●釣りセット（釣り竿・浮き・糸・針） ※滋賀県水産試験場で借りることができる ●餌（みみず・シラサエビ・タニシ・練り餌 等） ※ブラックバスは生きた餌の方が釣れやすい ●軍手・針はずし ●釣れた魚を入れるもの（バケツや水槽） ●魚類図鑑（例：「滋賀の魚」）等

●琵琶湖の生き物の代表ともいえる魚を釣ったり、釣れた魚に触れたりすることで、魚や琵琶湖に親しむ。
●釣れた魚の種類から、琵琶湖の魚の世界の様子に気づき、固有種や在来種が減少し、外来種が増加しているということについて考える。

主な活動の流れ

事前学習

- 図鑑やインターネットなどで琵琶湖の魚を調べる。
- 魚釣りをするめあてをもつ。

琵琶湖ではどんな魚が釣れるのか確かめてみよう！

※「一番大きな魚を釣るのは誰かな？たくさん釣るのは誰かな？」等の言葉掛けによって、児童は魚釣りにより興味をもつであろう。

- 釣れた魚をどうすればよいかを調べたり、話し合ったりする。
※琵琶湖ルールについての資料：滋賀県のHP・BFS作成のプレゼンテーション等

フロートリング

- ① 寄港地・停泊地の港や、その近辺で魚釣りをする。
- ② 釣れた魚をバケツや水槽に入れる。
※「魚の観察」や「魚の解剖」などの活動に使うことができる。
- ③ ワークシートを使って、学習のまとめをする。



事後学習

- 琵琶湖の魚の世界の変化と、自然や人々の生活とのかかわりについて調べ、自分たちには何が
できるかを考える。

<各港における留意事項の遵守>

※活動中に児童の落水や釣り針によるけがなどが起こることのないよう、安全指導を学校やフロートリングスクールでの活動前に十分にしておく。
※活動時、「魚釣り」の担当者は救命浮環を必ず携帯する。
※回収ボックス・いけすがない港については、釣れた魚をどうするか十分に考慮する。

港	安全性	回収ボックス・いけす	留意事項
近江舞子港	高	有（いけす）	・内湖での活動になる。岸が階段状で足場がよい。
大津港	中	有（ボックス）	・岸壁からの活動になる。 ・足場はよいが、釣り場から水面まで高さがあるので児童が落水をしないように十分に配慮する。 ・児童には救命胴衣を身につけさせた方がよい。
長浜港	中	有（ボックス）	
長命寺港	中	有（いけす）	
彦根港	中	有（ボックス）	
帰帆島港	中	有（ボックス）	
烏丸港	中	無	・栈橋からの活動になる。場所が狭かったり、釣り場から水面までの高さがあったりする。
琵琶湖大橋港	低	無	
今津港	低	無	